

令和6年度 浜松市立中ノ町小学校 学校評価報告書

1 自己評価

別紙（後期学校評価アンケート結果のお知らせ）のとおり

2 学校関係者評価

2月20日（木）に開催した学校運営協議会等において、自己評価結果、考察及び改善方策について委員に報告。委員からは以下のような意見があった。

(1)学校評価について

- 先生たちがとても丁寧に指導しているのがわかる。
- 子供たちの安全な生活についての評価は、大人と子供との差が大きい。子供たちの生活の中から課題を見付けられるとよい。
- TTY（行動支援プログラム）の活動がとてもよい。TTYの表もわかりやすい。地域や家庭にも広められるといい。

(2)学校いじめ防止基本方針に基づく取組み状況について

- 今年度のいじめ認知件数、取組み状況、来年度に向けた基本方針の見直し等について承認していただいた。
- いじめに関してスマホの扱いを子供たち自身に考えさせたり、親子で学んだりする場が欲しい。
- スマホ社会の有効性や危険性を伝える（教える）場があるといい。
- 学校で設けている生徒指導の日（アンケートの結果から子供たちに話を集中して聞く日）の取組みはいいと思う。

(3)その他

- 先生方の生の意見を聞いたので夏の教員と学校運営協議会委員との話し合いはよかった。

3 学校関係者評価を受けて

学校関係者評価を基に、以下の点について改善を図る。

- 安全な生活についての課題を子供たちの中から見付ける手立て。
 - ・委員会の委員長を学期に1回ほど集め、子供たちの話し合いの中で、今の現状と課題を話し合い、その解決方法として全校で取組める活動について考え、実践する。
- 地域、家庭を巻き込んだTTYの推進を行う手立て。
 - ・TTYの目的を地域や家庭にも理解してもらい、子供のよい表れを賞揚してもらう。（交通安全ボランティア・見回りボランティアの方が元気に挨拶できた児童にカードやシールを配る、家庭でTTYの表に関わる観点を作りそれができたら印をつける等）
- スマホについて親子で聞く機会を設ける手立て。
 - ・各学級や学年ごとに行っていた懇談会をやめ、参観会後に全学年の保護者と5・6年の児童対象に情報モラル講座を実施する。
- 学校運営協議会委員と教員との情報交換の場を設ける手立て。
 - ・今年度初めて実施した学校評議員と教員との情報交換の場を来年度も作る。